



カグヤでは、それぞれが別々の場所においても、お互いの気持ちや様子をクルー同士はもちろん、皆様とも共有できるよう、毎日、ホームページでブログ配信しています。ここではその一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

## 旬や風土を意識して



福岡、筑前地方に伝わる「がめ葉もち」。郷土料理を通して、ご縁のある土地に親しむのも楽しいですね。

この春は、地元の方にご指導いただきながら、人生初のたけのこ掘りに挑戦しました。掘り方だけでなく、本来の味を消さないようにと、命を大事にする下ごしらえや料理方法、保存の仕方なども教えて下さり、改めて先人の智慧の偉大さが身にしみました。

また、収穫したたけのこはお料理するだけでなく、柏餅と共に「端午の節供」の室札にも。旬のものや風土に



【端午の節供の室札】  
岩をも砕きまっすぐ天に向かって伸びていく逞しいたけのこの姿に、子どもたちの成長を託します。

あつた食べ物には理に適っていて、私たちの命を支え輝かせてくれます。そして季節は移るのもうすぐ6月、水無月です。梅雨時で湿気も多く昔から疫病がはやる季節と恐れられ、平安時代から6月16日は、お菓子を供え、疫病退散と招福を願う「嘉祥の儀」を行っていました。そんな行事も明治には廃れたものの、今は「和菓子の日」として復活もしています。

この日は疫病退散や招福の願いを込めて郷土のお菓子などをお供えし、子どもたちと一緒に日々の無事を感じ謝りたいとしてみる機会としてはいかがでしょうか。（宮前奈々子）

## 日本の智と慧

### その後②

「日本の智と慧」の掲載が終わって2ヶ月。綴られた25の記事をどのように取りまとめようかとクルー間で話し合う中で、弊社のパートナーとしてお付き合いをいただいているデザイナーの森下さんに相談してみると、早速お電話をしてみると、「藤堂さんにはお世話になったので何かしたかったんですよ」と快諾頂きデザインして下さることとなりました。「藤堂さんの手元に渡った時に、記事一つひとつの思い出が蘇りやすいようなデザインがいいね。」他の方が読む時にこの本が何の本なの



実際の新聞記事を活かして「日本の智と慧」がリニューアル。完成版を皆様にもお届けしたいと思っています。お楽しみに！

かが分かるように前書きがあつたらいいね。」その他諸々・・・と、とても前のめりにアイデアを出していただき、クルーの想像以上の形になり、嬉しくて幸せな気持ちに。

こんな風にいるんな人のアイデアと主体的な思いや行動が集まり、そして形になっていく瞬間に携われるのは幸せなこと。改めてみんなからそんな想いを引き出す働き方を積み重ねてきた藤堂さんを見習っていきたく感じています。（眞田海）

## 一期一会庵

### 感謝を探し直す 信頼の循環

日々忙しくなると、最初に失われていくのが感謝のように思います。自分が大変だと思ったり周囲への思いやりや、誰かからいただいた御蔭様のことよりも、自分の不足や不満ばかり目がいってしまいます。しかし、そういう時こそ改めて感謝を探し直すと思えるほどに存在に助けていただいていることを思い出し、不満や不足がどうでもよくなってきました。

よく考えてみたらそのものの存在がそのまま有難いと思つているときは感謝の気持ちでいるときです。見守る保育を実践する方から「見守らせていただけることが有難い」という言葉をお伺いしたいことがあります。どれだけ保育のなかで子どもや発達に感謝しているのだろうかと思つと、その眼差しの偉大さに尊敬の念がこみ上げてきます。

お米をつくっていても、お米を見守らせていただけることが嬉しい。そして畑で野菜を育てても、野菜を見守られることが仕合せという境地。

そこには、お互いの存在に感謝が往来し、信頼が循環していることを感じます。

同じ仕事をするのなら、仕事の結果ばかりを見るのではなく、お互いに感謝が往来するような信頼関係を築いていきたいと思えます。そのためには、感謝を磨く感性、感謝を探し出す日々の精進が大切ではないかとも感じました。その都度、毎回、いつもお取引するなかで感謝を探しているか。自分の立ち振る舞いや言動を反省し、感謝を探しているか。ありがたう、すみませんと言える機会を探せば本当に多くあります。感謝が循環する信頼しあう世の中は子どもたちの憧れている未来になるように思います。

コロナも落ち着いてきているからこそ、原点を忘れないようにして子どもも大人も見守り合う社会を実現させていきたいと思えます。

（野見山広明）



## 編集後記



猫は陽だまりがよく似合います。

立夏を過ぎ暦の上では夏を迎え、気持ちの良い日が増えましたね。先日、小学生の息子の宿題で「春の二十四節気を使った俳句作り」というものが出ました。我が家で最近飼いだめた「猫」で春を表現したいと言ふ息子と一緒に知恵を絞りますが、なかなか出てきません。そこで、最近何かと話題のA-

で試しに検索してみると、「啓蟄の猫も外出待ちわびる」との回答！ なかなかやるなあと感じ。それに考え方のヒントを貰った息子の作品が「春分の猫の背中あたかき」。完全なA-任せではなく、お互い高め合うために使えたら良いのかもしれないと気付かされたのでした。（眞田由莉）

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



ライトハウス(灯台)  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17  
東京堂神保町第3ビルディング8階  
tel.050-1744-8823  
fax.03-3518-6218

カグヤウェブセンター  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17  
東京堂神保町第3ビルディング8階  
tel.03-3518-6217  
fax.03-3518-6218

働き方と暮らし方の一致  
暮らしフルネスについて

